

助産師とは



- ◆ 助産師は、正常な妊娠・出産の介助を行う資格を有する医療従事者である。
- ◆ また、女性の一生にわたる性と生殖にかかわる健康問題を中心に、必要なケアや相談を行う専門家である。



助産師になるには、 まず看護師の資格を



★看護学校 専門学校 3年間

★看護短大 3年間

4年生大学に移行する傾向にある

★看護大学 4年間

私立 国立 公立

4年間の教育の中で助産師の資格を取れる場合もある

助産師になるための道



まずは、看護師免許を取得する



大学看護学部(4年)の中で助産科目を取得
大学卒業後、大学院(助産学・2年)を修了
1年間の助産師学校/専攻科/別科を修了

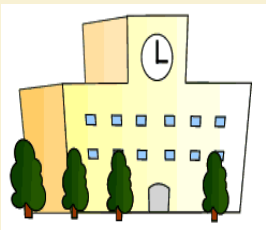


助産師国家試験受験

助産師学校・養成所の学校数の推移（平成28年5月現在）

学校の種類	平成3年 (80校)		平成28年 (197校)
大学院・専門職大学院	0校	➡	35校
		➡	
大学専攻科・別科	0校	➡	34校
		➡	
大学	5校	➡	81校
		➡	
短期大学専攻科	28校	➡	4校
		➡	
専修学校	47校	➡	43校

出典) 文部科学省 高等教育局 医学教育課
 第8回 公益社団法人 全国助産師教育協議会定時社員総会 看護系大学における助産師教育の動向と課題
 (平成29年6月10日)



助産師学校・養成所の学校数の推移 (平成28年5月現在)

学校の種類	平成3年 (80校)		平成28年 (197校)
大学院・専門職大学院	0校	➡	35校
大学専攻科・別科	0校	➡	34校
大学	5校	➡	81校
短期大学専攻科	28校	➡	4校
専修学校	47校	➡	43校
出典)文部科学省 高等教育局 医学教育課 第8回 公益社団法人 全国助産師教育協議会定時社員総会 看護系大学における助産師教育の動向と課題 (平成29年6月10日)			



助産師の仕事

◆ 妊娠相談 にんしんSOS相談

◆ 妊婦健診

妊婦と胎児の健康をアセスメントし、より快適な妊婦生活をサポートする。

◆ 出産介助

母子の安全・安心を守りながら、出産を介助する。
新しい家族のスタートを見守り、そして育む。

◆ 産後のケア・母乳育児支援

母親たちの母親的存在になる。新生児訪問



幅広い助産師の仕事



病院・診療所

病棟・分娩室・外来(助産師外来)
・母乳外来
院内助産所
母親学級 両親学級
NICU

保健センター

(保健相談所、市町村の健康部など)
母子健康手帳の交付、その際の面接
母親学級 両親学級 妊産婦相談
乳幼児健診 育児サークル支援
性にかかわる相談など

地域

母子訪問事業
新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問
母乳育児相談 無料電話相談
育児相談
ベビーマッサージなど子育て支援クラス
の企画・運営
出張講座:いのちの教育
卒乳講座
母乳講座などいろいろ)

助産所

助産所で出産可能な
妊婦の健診、出産、産褥期のケア
自宅分娩の介助
産後ケア:産後入院、訪問、デイサービス
母乳相談、乳房ケア
育児相談